



『Creator Classic』で ファイルを圧縮&暗号化

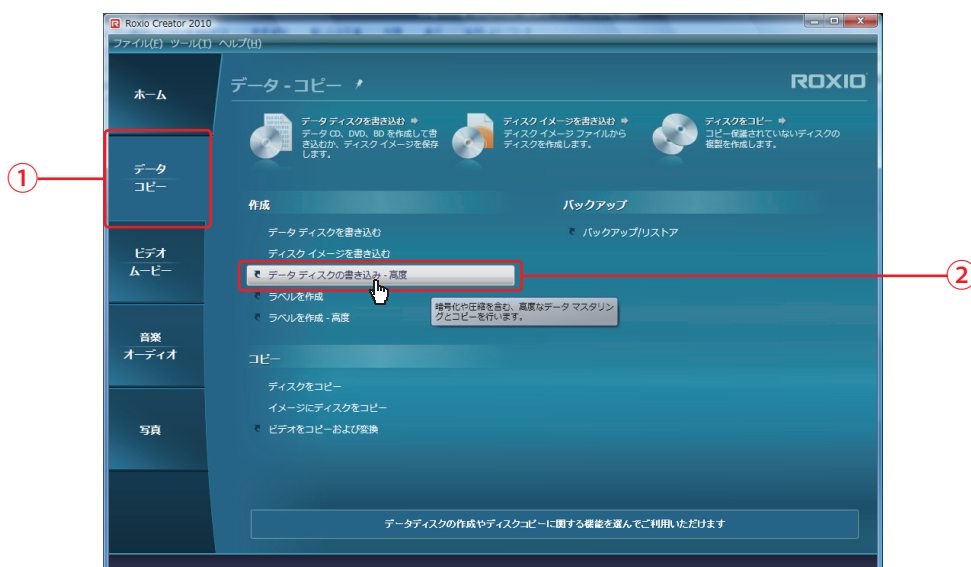
『Roxio Creator 2010』のファイル圧縮・暗号化機能を使えば、圧縮・暗号化されたファイルを簡単にディスクに書き込むことができます。ディスク容量の省スペース化を実現し、大切なデータをしっかりガードします。

はじめに.....

1.

『Creator Classic』を起動します。

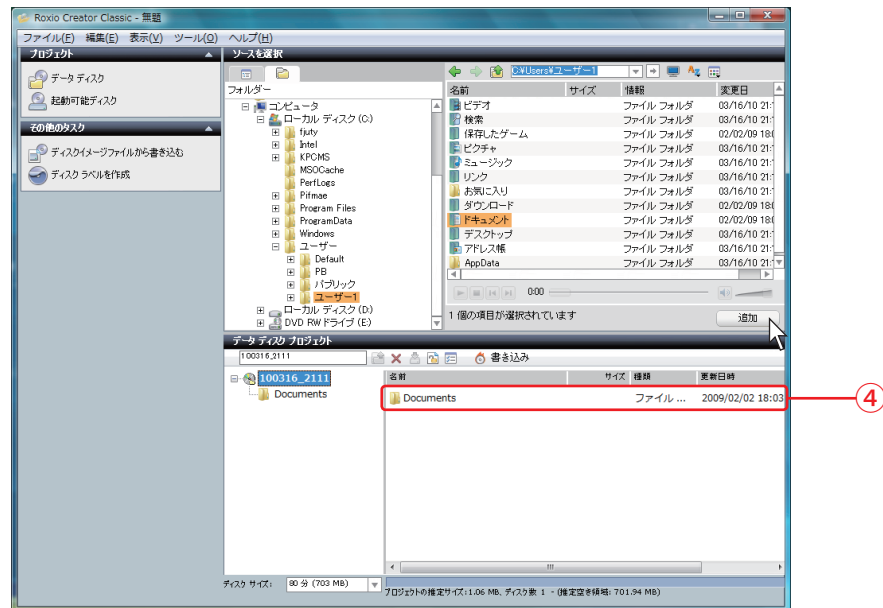
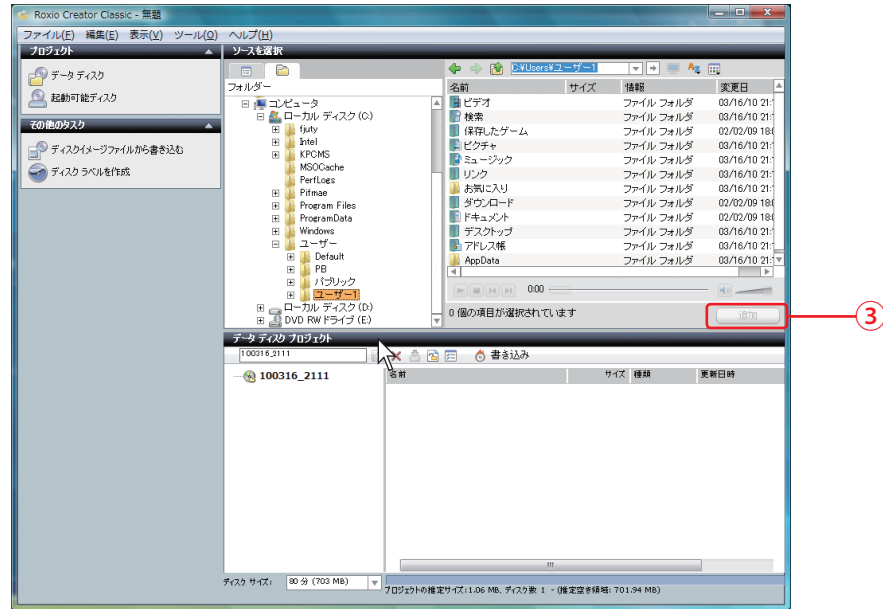
『Roxio Creator 2010』ホームウィンドウの画面左のメニューに表示されている“データ - コピー” ①をクリックし、次に、画面右に表示される“作成”の“データ ディスクの書き込み - 高度” ②をクリックします。『Creator Classic』が起動します。



2.

ディスクに書き込むファイルを指定します。

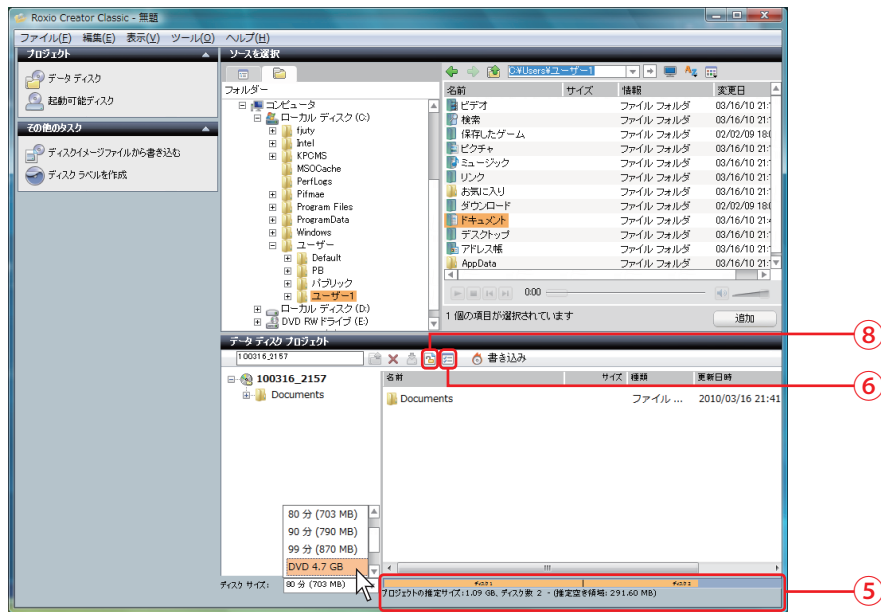
『Creator Classic』ウィンドウの画面右の“ソースを選択”欄からディスクへの書き込み時に圧縮・暗号化するファイルを指定し、「追加」③をクリックします。画面右下の“データ ディスク プロジェクト”欄に、追加されたファイル④が表示されます。



3.


ファイル容量を確認します。

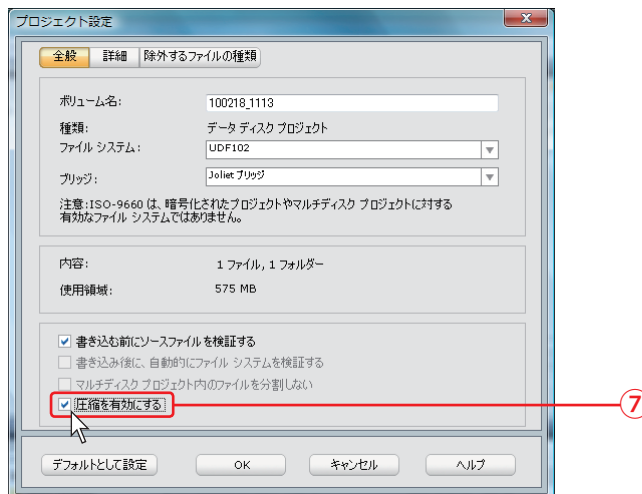
すべてのファイルをプロジェクトに読み込んだあと、画面下の「プロジェクトの推定サイズ」バー⑤に表示される内容を確認します。「ディスク サイズ」で指定したディスクの種類 (CD、DVD、2層 DVD など) に合わせて、書き込みに必要なディスクの枚数が表示されます。



4.


ファイルを圧縮します。

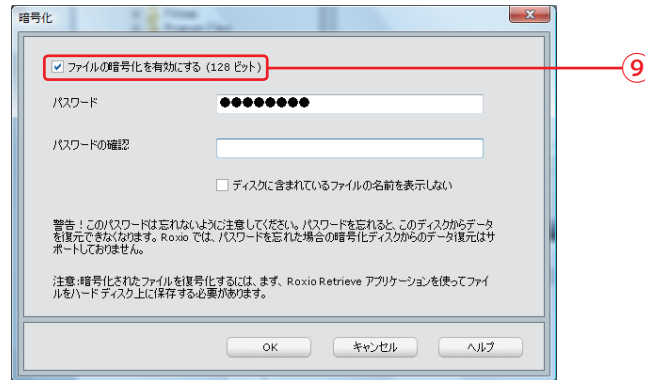
ファイルを圧縮してディスクの枚数を減らす場合は、データ ディスク プロジェクトのツールバーにある  (3.- ⑥) をクリックして、「プロジェクト設定」ダイアログボックスを表示します。ダイアログボックスの「圧縮を有効にする」チェックボックス⑦を選択します。圧縮データは Windows 上で自動解凍されるので、解凍専用ソフトは必要ありません。



5.


ファイルを暗号化します。

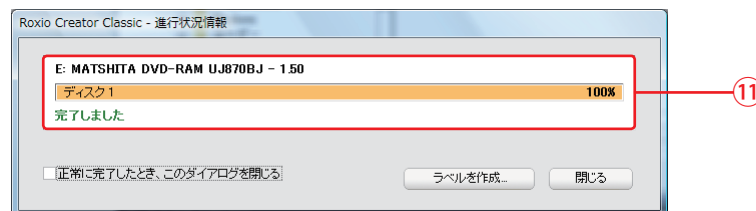
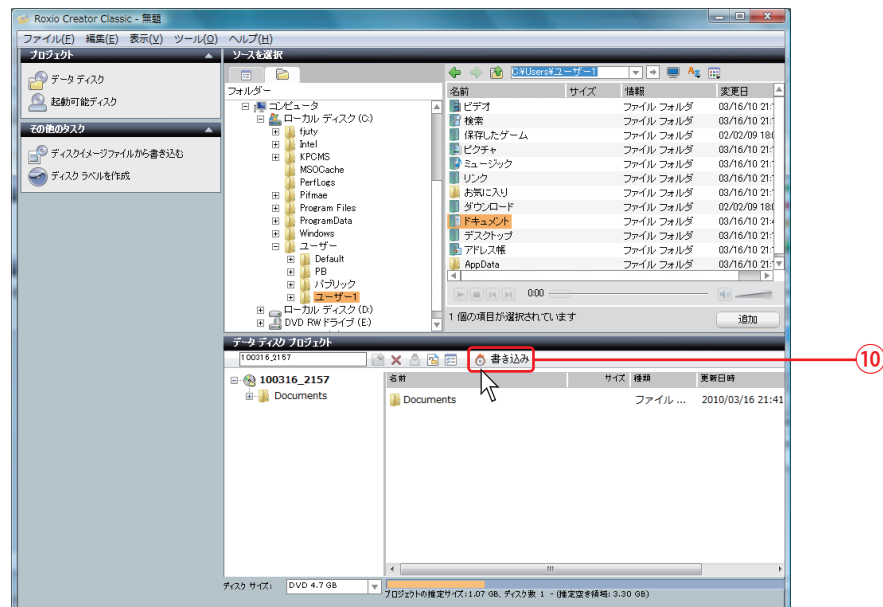
必要に応じて、ファイルを暗号化します。データ ディスク プロジェクトのツールバーにある  (3.- ⑧) をクリックし、「暗号化」ダイアログボックスを表示します。ダイアログボックスの「ファイルの暗号化を有効にする (128 ビット)」チェックボックス⑨を選択し、「パスワード」欄でパスワードを設定します。データにアクセスするとき、ここで入力したパスワードが必要となります。パスワードを書いた紙を安全な場所に保管してください。パスワードを紛失した場合、その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



6.

ファイルをディスクに書き込みます。

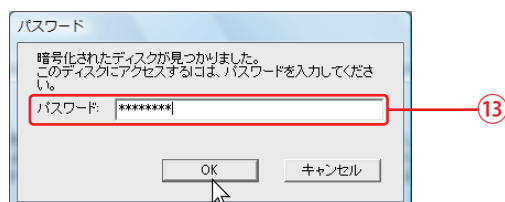
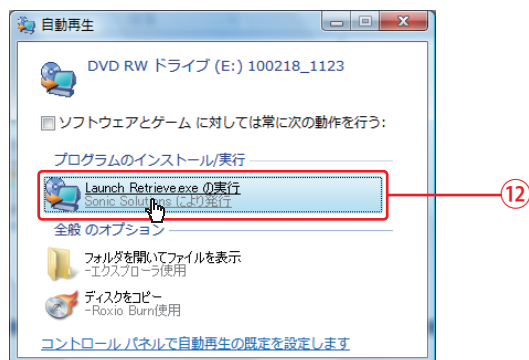
データ ディスク プロジェクトのツールバーにある  ⑩をクリックし、プロジェクトを完成させます。必要枚数に応じてディスクを挿入するよう求めるメッセージが表示されます。書き込み時に、進行状況を示す「進行状況情報」ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの進行状況バー⑪で進行状況を確認することができます。



7.

圧縮または暗号化されたディスクを読み込みます。

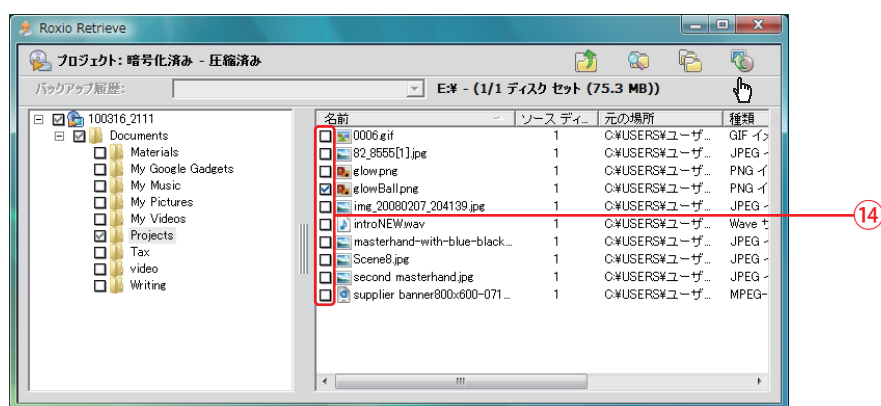
お使いのパソコンのディスクスロットに書き込んだディスクを挿入します。「自動再生」画面が表示されます。画面の“Launch Retrieve.exe の実行”^⑫をクリックします。ディスクに収録されている『Roxio Retrieve』アプリケーションが起動します。暗号化されたディスクを読み込む場合は、ここでパスワード^⑬を入力します。なお、自動再生を無効にしている場合は“C:\Program Files\Roxio 2010\Retrieve 12\Launch_Retrieve.exe”を実行してください。



8.

パソコンに読み込むファイルを指定します。

『Roxio Retrieve』アプリケーションを使って、パソコンに読み込むファイルを指定します。ファイルまたはフォルダの横のチェックボックス^⑭を選択するだけで簡単にデータを読み込むことができます。



9.

読み込んだファイルを保存します。
保存先を指定して“復元”^⑮をクリックします。

